

1.3.1.1_18

「受け取る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

<1> 「受け取る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の表現(P2)

<2> 「受け取る」の尊敬語表現 (P3)

<3> 「受け取る」の謙讓語表現 (P4～P6)

<4> 「受け取る」の丁寧語表現 (P7)

<5> 参考出典情報 (P7)

資料作成者: 日本語ナレッジ推進委員会第1組より作成します。

・作成メンバー: 朱明霞、蔡秀潔

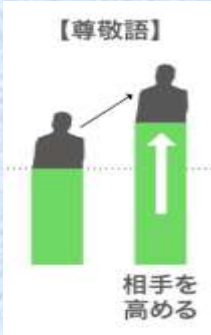
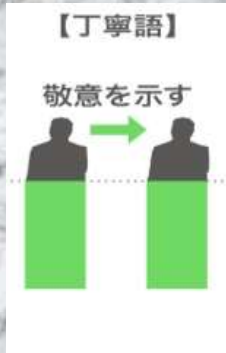
・一次レビュー者: 姜微(組長)

最終レビュー・補記訂正者: 吉川さん

1.3.1.1_18「受け取る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い



「受け取る」の尊敬語、謙讓語、丁寧語の表現

基本形	尊敬語	謙讓語	丁寧語
受け取る	お受け取りになる お納めになる	賜る 頂戴する 拝受する	受けとります
敬意を表す方向			
使用方法	<ul style="list-style-type: none">・相手を自分より上におき、相手を尊ぶことで敬意を表す。・主に、目上の方や上司、お客様などに対する言葉遣いとして用いられる。(自分ではない人の行動に使用する。)	<ul style="list-style-type: none">・自分を相手より下におき、自分がへりくだることで敬意を表す。・主に、自分側の行為などについて述べ、その行為が向かう先の相手を敬う言葉遣いとして用いられる。(自分の行動に使用する。)	<ul style="list-style-type: none">・自分と相手に上下の関係はなく、丁寧な表現を使って敬意を表す。・相手にも自分にも使える。

1.3.1.1_18「受け取る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

「受け取る」の尊敬語表現：「お受け取りになる」「お納めになる」

◇「受け取る」の尊敬語表現は「お受け取りになる」「お納めになる」です。

◇「受け取る」の尊敬語「お受け取りになる」は、受け取るに敬語の接頭語「お」、語尾を「～になる」に変化させて「お受け取りになる」です。

目上の相手が何かを受け取った時や、自分が目上の相手に対して何かを渡す時に、「お受け取りになる」、もしくは「お納めになる」使用します。

また、自分が取引先などから何かを受け取ったことを丁寧に表すために、「メールをお受け取りいたしました」の使い方は、やや回りくどい表現のため「メールを頂きました」「メールは頂いております」と言った方がスマートです。

お受け取りいたしました、は使いません。以下記事を見つけたのでご参考まで。

「お受け取り」という敬語フレーズがしっくりこない

「お受け取り」というフレーズがビジネスにおいてはイマイチしっくり来ない表現です。

失礼とまでは言わないものの「お受け取り」という言葉は小学生から大人まで万人がつかうフレーズであり、

なんとなく幼稚な感じがするのですよね。

同じく「自分が受け取る」の意味である「拝受(はいじゅ)」を使ったほうが丁寧な印象のビジネスメールになります。

あるいは他にも受け取るものの内容に応じて「受領・受理・領収」も使えます。

「頂きます」は使いやすいので、よく使います。

「ご連絡いただきありがとうございます。」

「ご対応いただきありがとうございます。」

など。

◇また、金品や書類を受け取ることを、自分の視点で「納める」と言いますが、納めるに同じく敬語の接頭語「お」を付けて「お納めになる」の表現も可能です。

<https://smartlog.jp/145391>

例文：

- ・受付で資料をお受け取りくださいませ。
- ・ご依頼のお見積書をメールにて送付いたしましたので、どうぞお受け取りください。
- ・〇〇部長はご不在でしたので、持参した手土産は〇〇課長が代わりにお受け取りになりました。
- ・ささやかですが、お納めください。



1.3.1.1_18「受け取る」尊敬語、謙譲語、丁寧語の違い



「受け取る」の謙譲語表現：「賜る」「拝受する」「頂戴する」

「受け取る」の謙譲語は「賜る」、「拝受する」、「頂戴する」です。お礼のニュアンスを含む時や、受け取ることを丁寧に表現したい時に使います。



「受け取る」の謙譲語表現①「賜る」

◇「賜る」という言葉は、対面やメール、文書などビジネスシーンで良く使われている敬語です。

- ・「賜る」は、敬語の中で謙譲語に属し、上司や目上の人にも使用できます。

「目上の人が何かを与えてくれた際のお礼」としてや「自分が目上の人に言葉を頂戴したい、指導してほしいことを伝える表現」などの場合に使われます。

- ・「賜る」には、「もらう」「与える」といった意味が込められています。「頂戴する」より丁寧な敬語になります。

- ・しかし、その一方で堅苦しい印象もあるため、親しい間柄の上司や同僚に使うと、かえって嫌みのようにとらえられてしまったり、失礼にあたる場合もあるので注意が必要です。

使い方だけではなく、使い過ぎも過剰な敬語使用とみられる可能性があります。

出典：<https://smartlog.jp/142973#S13054582>

例文：

- ・先日は誠に結構なお品をご恵贈賜りまして、心より感謝申し上げます。
- ・本日はご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。
- ・早々にご丁寧な賀状を賜りまして、誠にありがとうございます。



1.3.1.1_18「受け取る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

「受け取る」の謙讓語表現②「拝受する」

◇「拝受する」は、日常会話ではあまり使用することがなく、主にビジネスシーンで使われます。

・「拝受」という言葉には、「受領する」という意味があり、品物やお金など、大切なものを受け取ることを表します。「拝受」は、謙讓語の意味をもっているため、相手にへりくだって話す丁寧な表現方法です。

例えばクライアントや取引先から「あの資料、届きましたか」という連絡に対して「はい、拝受しました」などと返事をします。

◇しかし「拝受」はとてもしこまった言葉で、やや堅苦しく感じる人もいます。

日頃からよく関わる上司や顔の知れた相手には「受領いたしました」などのフレーズも使うといいでしょう。

出典：<https://eigobu.jp/magazine/haijyu>

例文:

- ・お送りいただきました書類を、本日確かに拝受いたしました。
- ・「資料のPDFをこのメールにて添付いたしました」-「拝受します」。
- ・「書類を郵送しましたので、ご確認ください」-「届き次第、拝受します」。
- ・「よろしくご査収ください」-「拝受しました」。

1.3.1.1_18「受け取る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

「受け取る」の謙讓語表現③ 「頂戴する」

- ◇「頂戴」という言葉は、資料や書類をもらうときや名刺交換などに使用することができるほか、気持ちや言葉をもらうときにも使用可能です。
- ◇軸が自分となるわけですので、目上の立場の方から何かを頂いたり、送ってもらった場合には必ず、『頂きました』『頂戴いたします』などと使うようにしましょう。
- ◇主に「人から何かをもらうこと」の謙讓語であり自身を低めて聞き手である相手を高める言い方として用いられる語となっています。

「頂戴します」も使いやすいです。

名刺交換をする際は必ず「頂戴いたします。」
といって受け取っています。

出典:<https://mayonez.jp/topic/2800>

例文:

- ・結構なものを頂戴し、大変恐縮に存じます。
- ・このたびは、貴重なご意見を頂戴し誠にありがとうございました。
- ・このたびは弊社スタッフの対応にお褒めの言葉を頂戴し、誠にありがたく存じます。
- ・ご丁寧に賀状を頂戴いたしまして厚くお礼申し上げます。
- ・本日、お歳暮の品を頂戴いたしました。

1.3.1.1_18「受け取る」尊敬語、謙譲語、丁寧語の違い

「受け取る」の丁寧語表現：「受け取ります」

◇「受け取る」の丁寧語表現は「受け取ります」となります。

より丁寧な動詞が、ビジネスシーンで多用される「受領する」です。

「受領する」には、「重要なものを受け取る」という意味があります。

<https://docoic.com/2088>

例文：

- ・メールで送っていただければ、書類を受け取ります。
- ・私が担当者ですので、受け取ります。

「その書類もらいます」といった言葉を聞いたことがあるかと思います。

日本人は受け取る際、「もらう」、といった言葉を使うことがあります。

「自分のもの」にするわけではないですが、「一旦もらいますね。」とか使ったりします。

※正しい日本語であるかは怪しい。

参考出典情報

<1>「賜る」の意味とは？

<https://smartlog.jp/142973#S13054582>

<2>「拝受」「拝受いたしました」の意味と使い方！

<https://eigobu.jp/magazine/haiju>

<3>ビジネスでの「受け取る」の敬語の使い方と例文19選、英語表現6選

<https://docoic.com/2088>

